

2024.08



# 深遊 探訪

しんゆう

たんぽう

この国は広くはない。  
でも、この国は広い。そして深い。  
四季、二十四節氣をまたぐ、  
多彩で気まぐれな自然の氣質。

そこに、その土地土地に生きる人々の  
表情や知恵や文化が滔々と息づいている。

この国は、分かり易くはない。  
だからこそ「その奥、にある何か」への興味は尽きない。  
時も季節も常に変化する。  
ひとやものやことが次々と生まれ、  
その役割を果たし、そして淡々と消えていく。

この国にはその連なりを  
「うつろい」という概念で受け容れ、  
千載一遇のこと、奥深きこととしてきた  
類まれな感覚がある。

深く深く、その季節と場所を訪れ、  
そこで出会いう時どきのうつろいを、愛でる。  
それこそが、この国、殊に東の日本を旅する  
究極の醍醐味ではなかろうかと思う。  
体験と発見をもたらす旅をつくりたい。  
私たちJR東日本は、  
そう思う人の感性に真っ向から応え、  
その人の人生の今までにない  
体験と発見をもたらす旅をつくりたい。

「まだ、知らないことがあった、という幸福。」を、  
実感する道程へ。

日本の奥の深さと出会い、  
時どきのうつろいを愛でる。  
人生の今までにない体験と発見を、  
鉄道の旅で。

かつてない感動に出会う。  
いま、「TRAIN SUITE 四季島」  
ならではの旅へ。

日本には、色鮮やかに移り変わる四季がある。  
その中で育まれた文化や芸術、風習。  
そして、長い歳月をかけて研ぎ澄ませてきた、人々の繊細な感性。  
時間と空間の移り変わりを楽しむ  
「TRAIN SUITE 四季島」での上質な体験は、  
日本のクルーズトレインでしか出会うことのできない  
この四季がもたらす恩恵を、享受し尽くすことに他ならない。

「今までの人生で、最高の体験だった」  
乗る人の記憶に、いつまでも残り続ける旅をめざして。  
黄金色に輝く列車が、静かに走り出す。

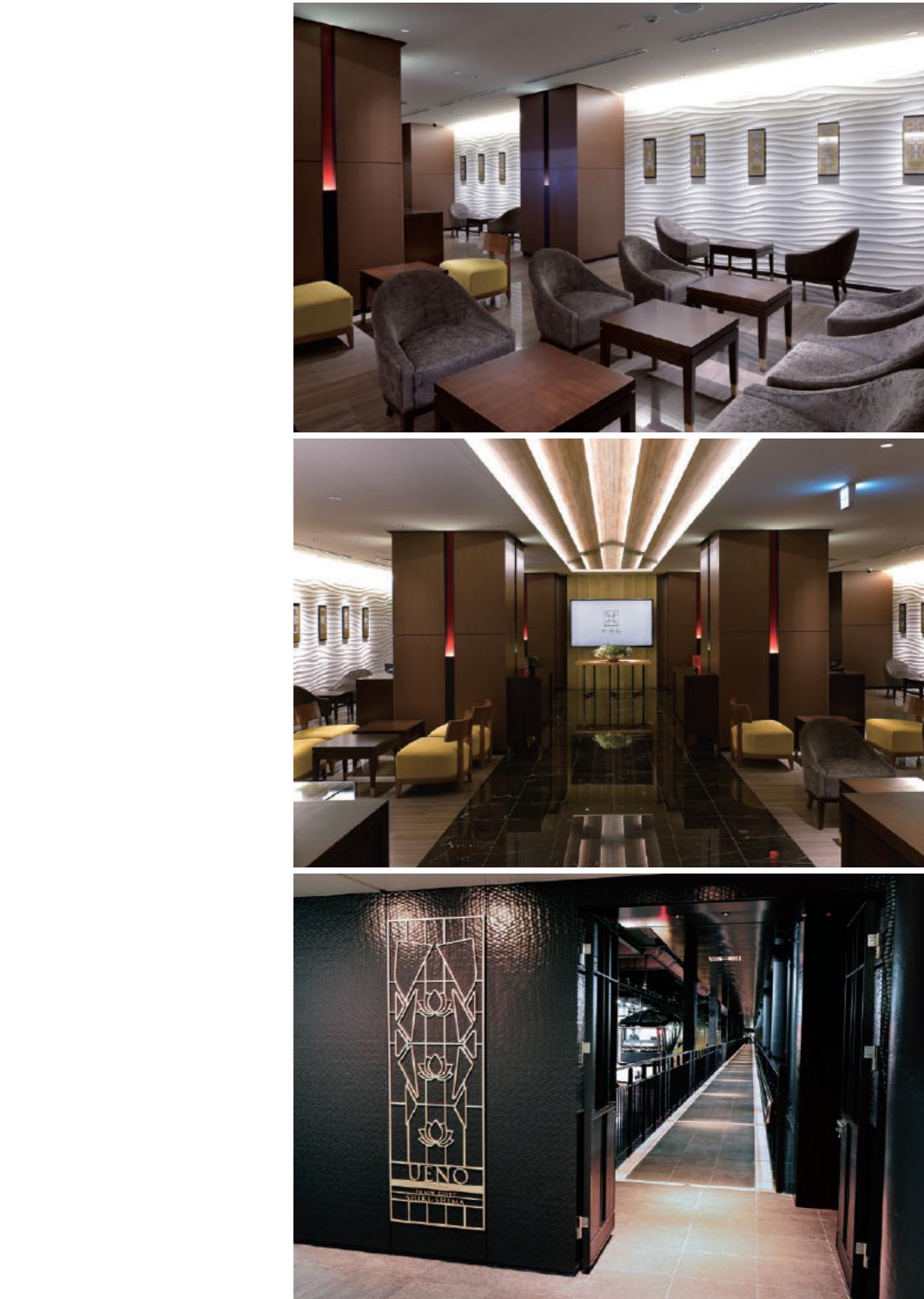


PROLOGUE SHIKI-SHIMA

---

旅の始まりも上質に、  
「プロlogue四季島」

旅の起点となる上野駅に、「TRAIN SUITE 四季島」の旅にご出発いただくお客様専用のラウンジ「プロlogue四季島」をご用意しております。洗練されたインテリアと、温かみのある照明デザイン。これから始まる感動体験を予感させる、深い落ち着きに満ちています。また、「TRAIN SUITE 四季島」へは目の前に設けた専用の「新たな旅立ちの 13.5 番線ホーム」からご乗車いただきます。

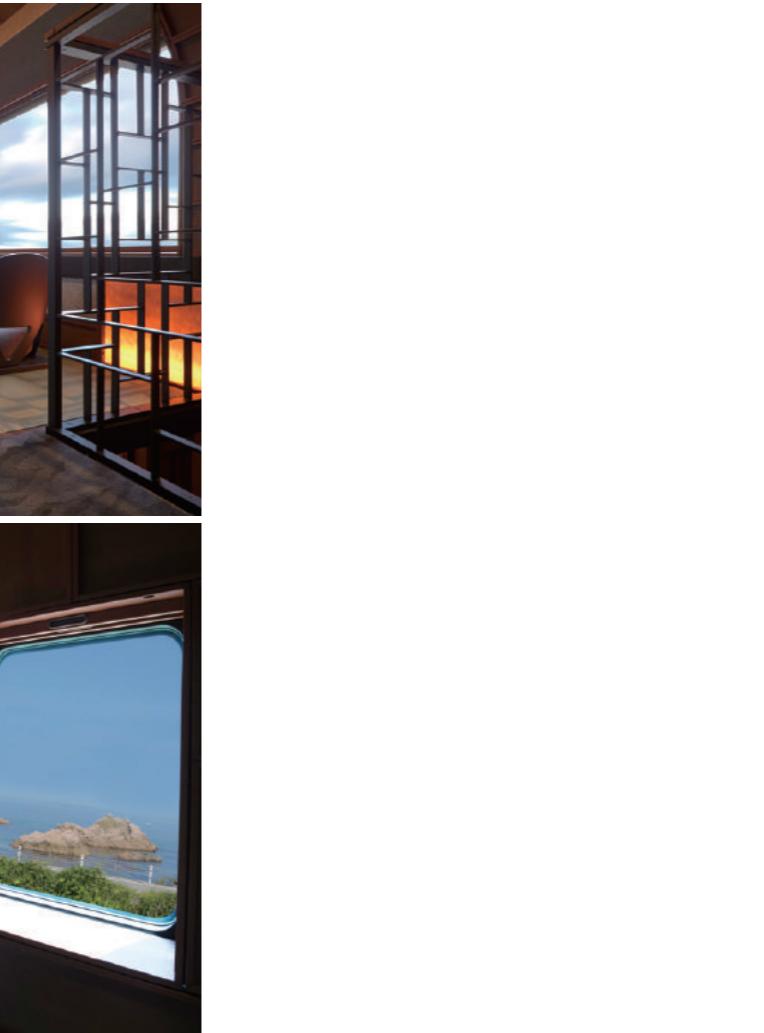




WELCOME TO TRAIN SUITE SHIKI-SHIMA

おもてなしを極めた、  
豊かで上質な旅時間へ。

和室でくつろぎ、格別の眺めを楽しむ。  
夜は階下で、深い落ち着きにつつまれる。



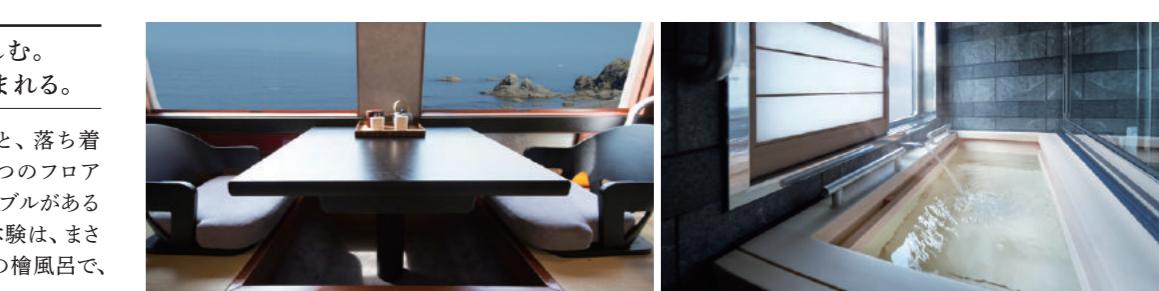
四季島スイート(メゾネットタイプ)



SHIKI-SHIMA SUITE ROOM  
"MAISONETTE TYPE"

和室でくつろぎ、格別の眺めを楽しむ。  
夜は階下で、深い落ち着きにつつまれる。

四季島スイートは、見晴らしのいい2階と、落ちていた空間が安らぎをもたらす1階の、2つのフロアで構成されています。掘りごたつ風のテーブルがある和の空間で、色々とうつろう風景を眺める体験は、まさにここでしか味わえない非日常。夜は特製の檜風呂で、リラックスした時間をお過ごしください。





DELUXE SUITE ROOM  
“FLAT TYPE”

和の意匠と素材が織りなすモダンな空間が、  
風雅な時間を演出する。

空間の贅沢さと上質さをテーマとしたデラックス  
スイート。日本古来の柄や木を使いながら、和紙、  
漆、石などさまざまな素材を組み合わせ、クラシカル  
なだけではない、モダンで洗練された雰囲気を演  
出しています。「走るアート」とも呼べる空間が生み  
出す、特別な旅情をお楽しみください。



デラックススイート（フラットタイプ）



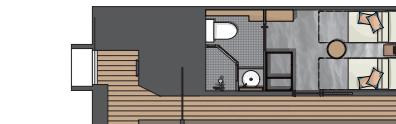
デラックススイート（フラットタイプ）



SUITE ROOM

日本の美意識を随所に盛り込みながら、  
洗練さとのびやかさをまとめた空間へ。

時間と空間の移り変わりを楽しむための舞台である  
「TRAIN SUITE四季島」の客室は、全室がスイート  
ルーム以上。伝統的な和の美意識のエッセンスをとり  
いれつつ、同時に未来へと向かう意志を感じさせる  
デザインです。季節や時のうつろいを体感できる親密感に  
満ちた空間で、忘れない時間が過ぎていきます。



スイート



DINING しきしま



中村 勝宏

Katsuhiro Nakamura

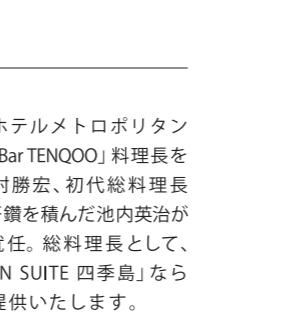
総監修

岩崎 均

Hitoshi Iwasaki

監修

「TRAIN SUITE 四季島」でご提供するお食事は、日本人として初めてフランスでミシュラン一つ星を獲得し、2008年北海道洞爺湖サミットでは総料理長を務め、2016年にはフランス共和国農事功労章の最高位「コマンドゥール」を受章した、JR東日本グループ「日本ホテル株式会社」統括名誉総料理長・中村勝宏が総監修をいたします。また、「TRAIN SUITE 四季島」の初代総料理長を務めた岩崎均がその経験を活かし、監修としてサポートを行います。



池内 英治

Eiji Ikeuchi

総料理長

総料理長には、ホテルメトロポリタン丸の内「Dining & Bar TENQOO」料理長を務め、総監修中村勝宏、初代総料理長岩崎均のもとで研鑽を積んだ池内英治が2023年4月より就任。総料理長として、お客様に「TRAIN SUITE 四季島」ならではの料理をご提供いたします。

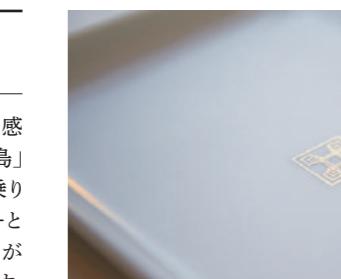
旬の素材をあじわう、  
その土地だけの出会い。



食事

東日本各地の旬の滋味をとりいれた、心づくしの料理がテーブルを彩る。

その土地ならではの料理や食材との出会いは、旅の感動をより深めてくれるもの。「TRAIN SUITE 四季島」では、行く先々で、時には地元の料理人が車内に乗り込み、こだわりの料理を提供するなど、キッチンクルーと地域を代表する料理人の力を結集し、地域とのつながりや特別感を随所に演出した料理をお届けいたします。





11

流れゆく自然の風景を、  
臨場感たっぷりに楽しむ。

LOUNGE こもれび / VIEW TERRACE きざし・いぶき

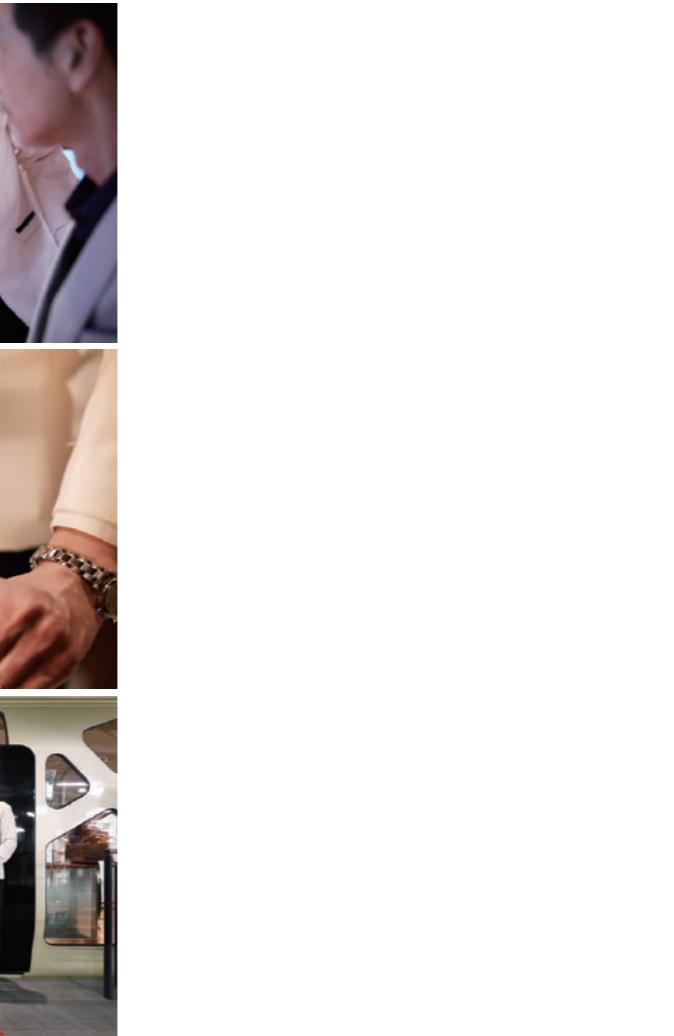
雄大な自然を背景に、  
開放感と高揚感あふれる空間をデザイン。

未来へ進む意志を、光のかけらのような窓で表現した  
開放的な展望車。空に向かって枝を伸ばす樹木を  
イメージさせる、洗練されたラウンジ。車両ごとの快適  
さを象徴する内部形状が細部にわたるインテリア  
にも表され、旅の高揚感や非日常の時間をいっそう  
盛り上げます。



ラウンジ / 展望車





「TRAIN SUITE 四季島」の  
おもてなしを体現する、  
唯一無二の存在。

「TRAIN SUITE 四季島」の上質な空間の中で、  
安らぎを感じながらおくつろぎいただくために。

ダイニングでの料理のサービス、ベッドメイキングなどのお部屋の設え、さらには、立ち寄り先での観光アテンドまで承るのがトレインクルーです。旅の始まりから終わりまで、お客様お一人おひとりの気持ちに寄り添ったオーダーメイドのサービスを提供いたします。日本が誇るおもてなしを体現する、洗練されたホスピタリティをご堪能ください。

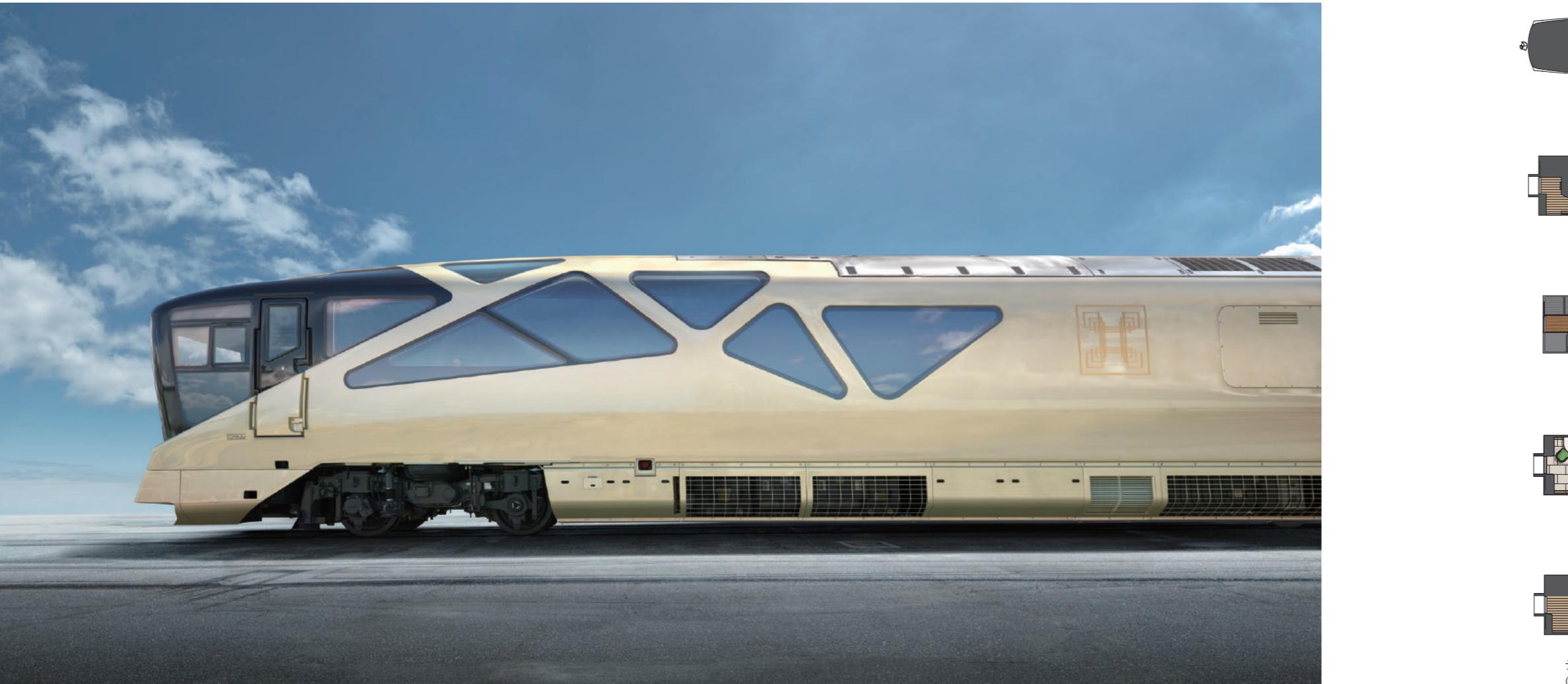
滝沢直己  
Naoki Takizawa

ユニフォームデザイン / NAOKI TAKIZAWA DESIGN INC. 代表

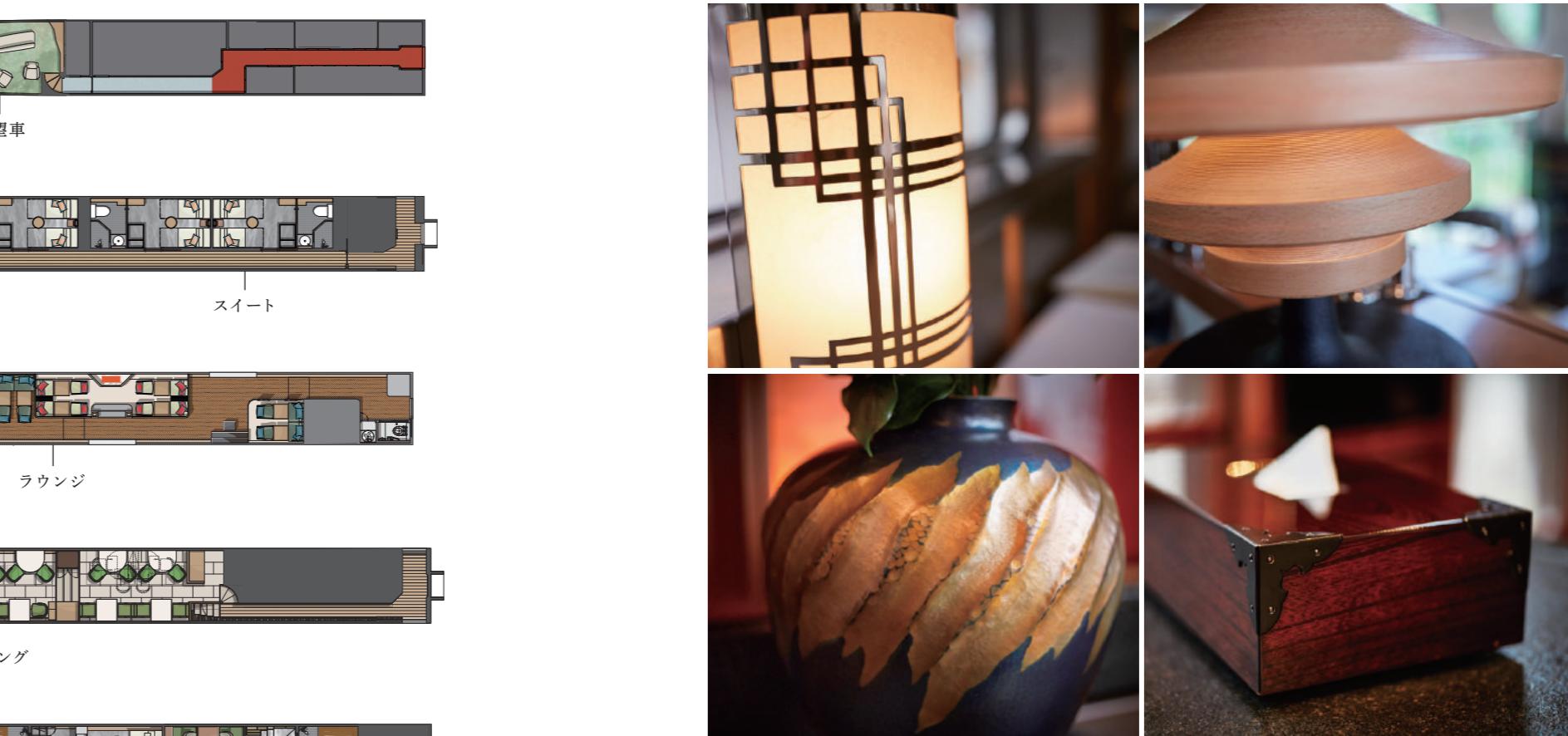
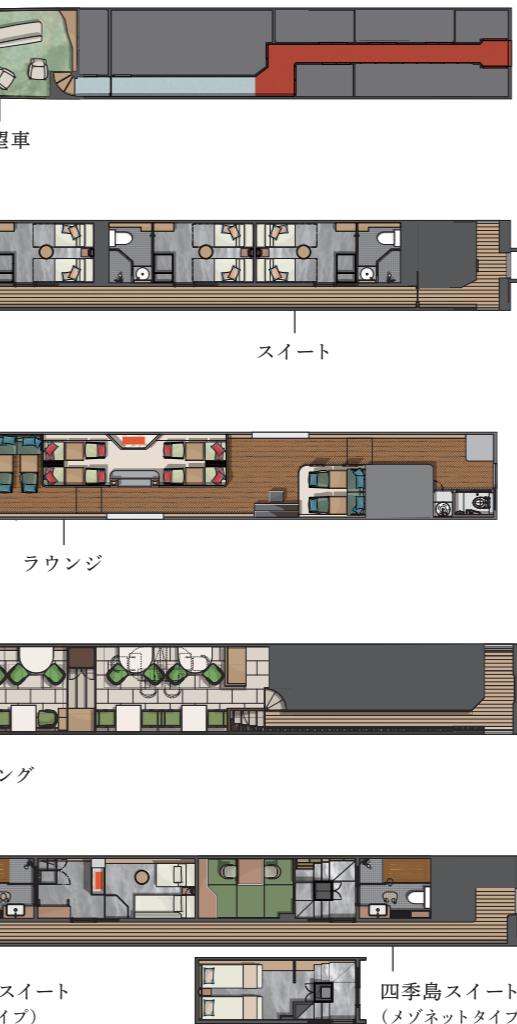
1960年東京生まれ。ファッショントレーナー。「ISSEY MIYAKE」のクリエイティブディレクター(メンズ 1993-2000年、レディース 2000-2007年)を経て、2007年に独立。2010年から上皇后陛下の衣装デザインを担当。2011年よりユニクロのデザインディレクターに就任し、2014年からはスペシャルプロジェクトのデザインディレクターとして活動している。2007年フランス芸術文化シュバリエ勲章受章。2009年東京大学総合研究博物館 / インターメディアテクノロジー研究部門特任教授に就任(～2013年)。



トレインクルー



EXTERIOR DESIGN



日本の奥の深さを感じさせる東日本各地の職人の手仕事による伝統の逸品が、旅の舞台となる客室や車内を彩ります。



**奥山清行**

Kiyoyuki Ken Okuyama

デザインプロデュースおよび車両デザイン / KEN OKUYAMA DESIGN 代表

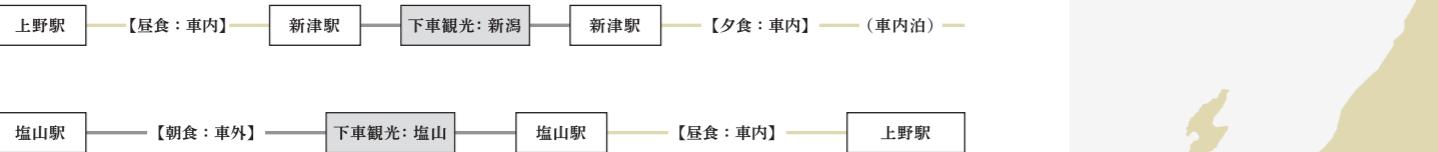
1959年山形市生まれ。ゼネラルモーターズ社(米)チーフデザイナー、ボルシェ社(独)シニアデザイナー、ピニンファリーナ社(伊)デザインディレクターなどを経て、2007年KEN OKUYAMA DESIGNを設立。山形・東京・ロサンゼルスを拠点に、企業コンサルティングのほか、自身のブランドで自動車・インテリアプロダクト・眼鏡の開発から販売までを行う。著作多数。講演も行う。

いくつもの窓形状で構成されたユニークな外観が、この旅のさまざまな体験を予感させる。

シャンパンゴールドをベースに四季島向けに特別調合した「四季島ゴールド」の外装に、4面ガラス張りの先頭車両。この旅でしか味わえないエクスペリエンスを盛り込みながら開発された特注車両です。「美しい日本」「豊かな時間と空間」、そして「日本の文化」を楽しむこの列車は、さりげなく深い知の感動を与える舞台として、世界最高クラスのクルーズトレインとなります。

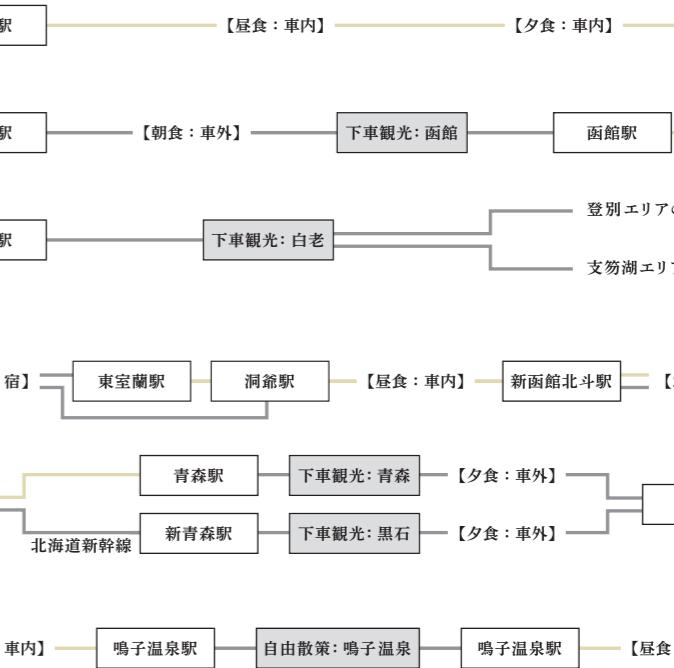
## 1泊2日コース(山梨)/春～秋

みなとまちが育んだ豪商の粋と、  
豊かな里山の恵みを味わう旅。



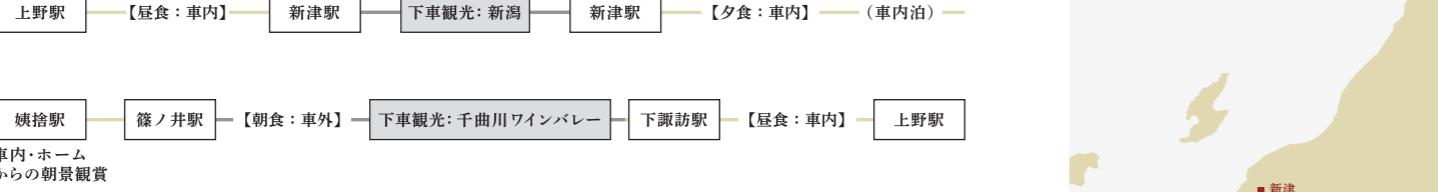
## 3泊4日コース / 春～秋

大自然の織りなす風景と、  
受け継がれてきた悠久の文化にふれる旅。



## 1泊2日コース(長野)/春～秋

みなとまちが育んだ豪商の粋と、  
豊かな里山の恵みを味わう旅。



TRAIN SUITE 四季島  
列車、バス等

## 近代新潟を代表する豪商の迎賓館

旧齋藤家別邸\*

[1泊2日コース 1日目]

旧齋藤家別邸は、豪商・四代齋藤喜十郎によって1918年～1920年にかけて造られた敷地面積約1,300坪を誇る広大な別荘。近代和風建築の秀作といわれる開放的な建物は、大正時代における港町・商都新潟の繁栄ぶりを物語る文化遺産として知られる。2015年に国の名勝に指定された庭園は砂丘地形を生かした回遊式で、高低差のある斜面を利用して水の流れや滝を設け、深山幽谷の趣を造り出している。各地から運ばれた名石や巨石が配置されるとともに、松林の隨所にモミジなどの植栽もあり、四季を通じて訪れる人を魅了する。

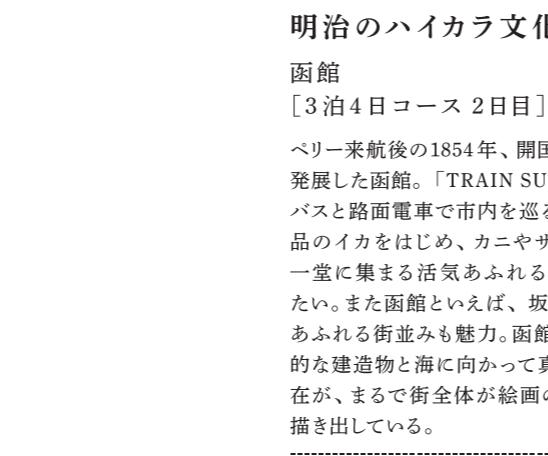


## 善光寺平を一望する圧巻の眺め

姨捨

[1泊2日コース(長野) 2日目]

姨捨山伝説の里としても知られる姨捨は、棚田と千曲川に沿って広がる善光寺平の眺望が「日本三大車窓」のひとつとして有名。特に棚田は、全国にある棚田の中で初めて国の名勝に指定された。5月、6月になると区切られた水面に月影が映り込み、そのまま「田毎の月」と呼ばれる。「TRAIN SUITE 四季島」は、早朝に姨捨駅に到着。車窓、または駅のホームから、朝の風景を観賞する。季節や時間で姿を変えるその眺めは、古き良き日本の原風景を想わせ、素朴な感動を与えてくれるに違いない。



## 明治のハイカラ文化を感じる

函館

[3泊4日コース 2日目]

ペリー来航後の1854年、開国後初めての貿易港として発展した函館。「TRAIN SUITE 四季島」の旅では、バスと路面電車で市内を巡る。函館朝市では、特産品のイカをはじめ、カニやサケなど、新鮮な食材が一堂に集まる活気あふれる市場の雰囲気を満喫したい。また函館といえば、坂道が織りなす異国情緒あふれる街並みも魅力。函館山の麓に建ち並ぶ歴史的な建造物と海に向かって真っ直ぐに伸びる坂の存在が、まるで街全体が絵画のような印象的な風景を描き出している。

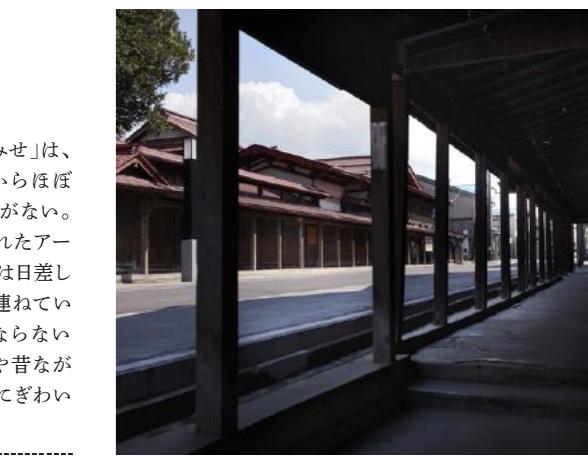


## 藩政時代の風情が今に残る

中町こみせ通り

[3泊4日コース 3日目 黒石コース]

「日本の道百選」にも選ばれた中町通りの「こみせ」は、伝統的な建造物とアーケードが藩政時代からほぼそのままの形で残っており、全国的にも類例がない。「こみせ」とは、雪や雨をしのぐために作られたアーケード状の通路のこと、雪国特有のもの。夏は日差しが通り、冬は吹雪や積雪から人を守り、軒を連ねていた旅籠や呉服屋、商家にとってはなくてはならない存在だった。国の重要文化財「高橋家住宅」や昔ながらの造り酒屋、蔵などが並ぶ風景は、往時にぎわいを彷彿とさせる。



## 花街の芸と粋を堪能する

新潟古町芸妓\*

[1泊2日コース 1日目]

京都の祇園、東京の新橋と並び称されてきた花街、新潟古町。新潟古町芸妓は、港町として栄えた新潟を代表する文化のひとつとして約200年の伝統を誇る。江戸時代の新潟は北前船の拠点として多くの人々が交流し、にぎわっていた。そこにいつしか花街が生まれ、訪れる人々を粋な芸でもてなしたのが新潟古町芸妓だった。風情溢れる料亭が軒をつらね、日本有数の米や地酒、四季折々の食材を使った料理が振る舞われる古町の花街は、新潟を代表する伝統文化であり、芸妓たちはその象徴といえる。

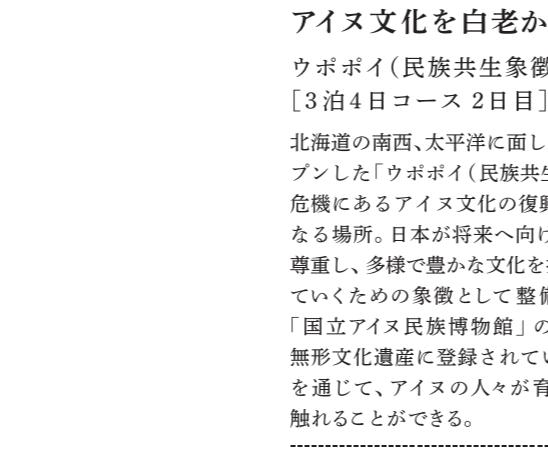


## 世界が注目する山梨のワイン

日本のワイン造り発祥の地・山梨

[1泊2日コース(山梨) 2日目]

水はけ、日当たり、風通しがいずれも良い最適な地形と気候を活かし、甲府盆地では古くからぶどうが栽培されてきた。ワインづくりの始まりは明治。今では新旧80余のワイナリーが山梨県内に集まっている。2010年、日本固有の品種「甲州」種が、ワイン醸造のぶどう品種としてパリのOIV(国際ぶどう・ワイン機構)に登録され、甲州ワインはEU各国へも輸出されている。この旅では勝沼のワイナリー「勝沼醸造」「丸藤葡萄酒」のいずれかを訪れ、「日本ワイン」を生み出してきた歴史や「甲州」というテロワールにこだわる作り手の誇りに触れていただきます。



## アイヌ文化を白老から世界へ

ウポボイ(民族共生象徴空間)

[3泊4日コース 2日目]

北海道の南西、太平洋に面した白老町に2020年オープンした「ウポボイ(民族共生象徴空間)」は、存立の危機にあるアイヌ文化の復興・発展のための拠点となる場所。日本が将来へ向けて、先住民族の尊厳を尊重し、多様で豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴として整備された。ウポボイでは、「国立アイヌ民族博物館」の多彩な展示やユネスコ無形文化遺産に登録されているアイヌ古式舞踊などを通じて、アイヌの人々が育んできた豊かな文化に触れることができる。



## 新進気鋭のワイナリーが集う

千曲川ワインバレー

[1泊2日コース(長野) 2日目]

千曲川(信濃川)の流域に広がる、千曲川ワインバレー。気候と土壤がワイン用ぶどうの栽培に適しており、メルロー、シャルドネなど欧州系の品種が多く栽培されている。近年は個人のワイナリーも増え、中堅のワイナリーでは新たなワイナリーを誘致する活動も行っている。また町がワイン用ぶどうの農地を確保して新規参入を受け入れるなど、ワイン産業振興のために官民がともに積極的に取り組んでいる。「TRAIN SUITE 四季島」の旅では、「マンズワイン小諸ワイナリー」、「ヴィラデストガーデンファームアンドワイナリー」のいずれかを訪れる。



## 日本最大級の縄文集落跡

三内丸山遺跡

[3泊4日コース 3日目 縄文コース]

三内丸山遺跡は、今から約5,900年前～4,200年前の縄文時代の集落跡。1992年からの発掘調査では竪穴建物跡や墓、捨て場などが見つかっており、また膨大な量の縄文土器、土偶、ヒスイ製の玉などが出土している。この調査での数多くの発見が、従来の縄文文化のイメージを大きく変えるきっかけとなった。この旅では、出土品の整理作業現場や、約500個の土器が並ぶ一般収蔵庫の様子などを、専門ガイドの案内で見学する。広大な敷地の中で、悠久の間に思いを馳せたい。

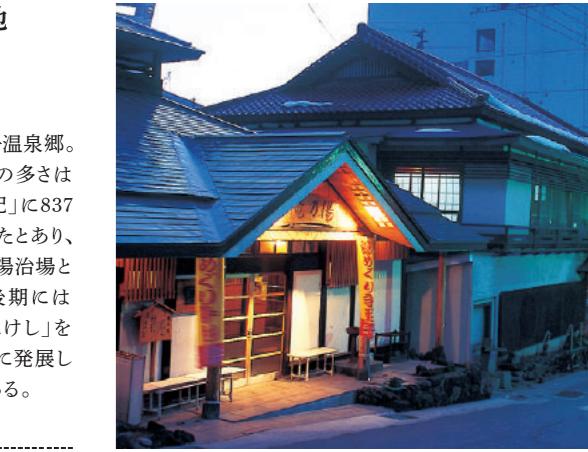


## こけしの里の情緒溢れる温泉地

鳴子温泉郷

[3泊4日コース 4日目]

宮城県大崎市にある5つの温泉地を有する鳴子温泉郷。温泉の泉質は多彩で、種類の豊富さ・源泉数の多さは日本有数と言われる。歴史は古く、「続日本後記」に837年4月に鶴山が大噴火をして温泉が湧き出したとあり、温泉宿の開湯は江戸時代中期頃と伝えられ、湯治場として多くの人々に親しまれてきた。江戸時代後期には木地師たちがろくろを使って作製した「鳴子こけし」をお土産や玩具として広め、その木地技術と共に発展してきた漆工芸品の「鳴子漆器」なども有名である。





詳しくは、「TRAIN SUITE 四季島」ホームページをご覧ください。

<https://www.jreast.co.jp/shiki-shima>

\*掲載の写真・イラストはすべてイメージです。

\*このパンフレットの情報は、2024年8月現在のものです。

